

毎月連載——ホームページでご覧になれます。http://www.ahni.co.jp/kitazawa/index.htm

## 日本と北歐(スウェーデン・デンマーク)の「いのち」に関する教科書と絵本を比較する！

そのI

「性を語る会」代表 北沢杏子

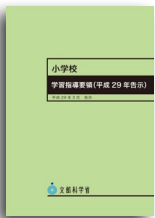
### ■東京都教育委員会が、区立中学校の「性教育」に不当介入

2018年3月5日、卒業を目前に控えた東京都足立区立中学3年生対象の総合学習の時間に、教員たちが「性教育」の授業を行った。高校生になると、予期せぬ妊娠や中絶<sup>\*</sup>が急増する現実を伝え、正しい避妊の知識および人工妊娠中絶を受けられる「母体保護法」の法的期限も教えた。

この授業に対し、3月16日の都議会文教委員会の席上、「日本の家庭を守る地方議員の会」の古賀俊昭都議が「中学校学習指導要領にない性交、妊娠、避妊、中絶を教えるとは問題だ！」と指摘。都教委の担当部長も「中学生の発達段階に合わない内容、指導だ」と断定し、都教委は足立区教委を通して授業内容を調査させ注意喚起するよう通告した。

ここで、「学習指導要領」(以下 指導要領)には、どんな規定があるのか？最新の「小学校指導要領(平成29年3月31日告示)」の中から、「いのち」に関する項目を挙げ、これに従って授業を行うことの矛盾点を挙げてみる。

### ■小学校3～4年生「保健・体育」教科書——初経/精通

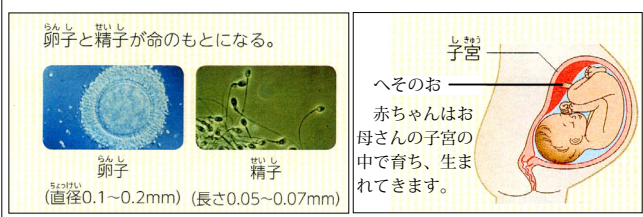


左の指導要領「保健」p148(2)―(イ)は、「**体は思春期になると次第に大人に近づき(略)、初経、精通などが起ったりすること**」(を教える)となっている。

教員は指導要領に則して作られた教科書で、児童に初経、精通を教え、女子だけを集めての「月経の手当て」の指導を行うが、男子は校庭で体育の授業。これでは、「女子は何を教わっているんだろう？」と、性的な好奇心を煽るばかりだろう。私はジェンダーの相互理解を旨として、男女共修で排卵・月経・精子の産生・勃起・射精・夢精を教えるべきだと考え、実行しているが、「指導要領」には、「二次性徴の体と心の変化」(のみ)となっている。

このあと、「保健」の教科書は「新しい生命」へと進む。

### 新しい生命——受精と妊娠・出産



だが、「新しい生命」に続く頁は「運動と発育」「すいみんと発育」となっており、児童たちが疑問に思う「卵子と精子の受精は、

どう行われるのか？」については、全く触れていない。それは、指導要領「理科」(5年生)―B「生命・地球」の(2)「動物の誕生」で扱う——との規定があるからだ。動物の誕生の、(ア)魚には雌雄があり、生まれた卵は日がたつにつれて中の様子が変わり、かえること。(イ)人は、母体内で成長して生まれること(を教える)となっている。そして③内容の取扱いの2は、(イ)について、「人の受精に到る過程(性交)は取り扱わないものとする」と規定している。

そこで教師は、児童が5年生になるのを待って、指導要領に則って作られた「理科」の教科書で、受精を教えることになる。

### 受精(5年生理科)

#### メダカのたんじょうで受精・受精卵を説明



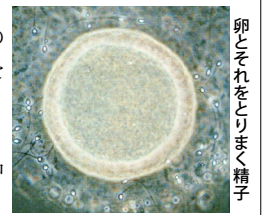
オスとメスがからだをすり合わせ、オスが精子をかける。 卵のまくをやぶって出てくる。

### 人のたんじょう——生命のつながり(5年生理科)

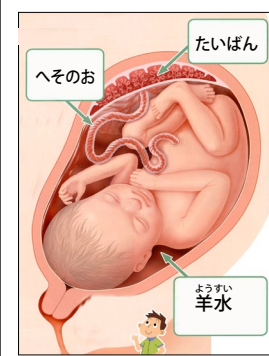
女性の体内でつくられた卵子と男性の体内でつくられた精子が結びつくことを受精<sup>せいじゆう</sup>といいます。

(指導要領―「性交」は取り扱わないものとする)

受精卵は、女性の体内にある子宮<sup>しじゆう</sup>の中で子どもに育ち、うまれてきます。



### 母親の子宮の中のような(5年生理科)



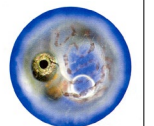
人の子どもは、母親の子宮の中で、へそのおを通して、母親から養分などをとり入れながら成長していきます。そして、受精してからおよそ38週たつと、生まれ出てきます。

うまれた子どもが成長して大人になり、やがて子どもをうむことによって、生命をつないでいきます。

このあと、児童が感想を話しあうよう、こう書かれている。

### 学んだことを考えてみよう

母親の体の中での人の子どもの成長と、たまごの中でのメダカの子どもの成長を比べて、似ているところや、ちがっているところを説明しましょう。



ここで問題なのは、魚類と、哺乳類である人間の「受精」を比較しようという矛盾だ。こうまでして人間の受精―性交を取り上げることは、「指導要領違反」なのだろうか？

日本の「いのちの誕生」の教科書は、なぜ「性交」を禁句とするのか？日本人の「性」に対する考え方の根元はどこにあるのか？スウェーデン/デンマーク共通の性教育教科書と比べてみよう。

\* 2015～2016年度 高校生の妊娠2,098人。高校の勧めも含めた自主退学674人。(文科省調査) 2016年度の16～18歳の中絶件数は7,716件。